

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月8日

上場会社名 西日本鉄道株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 9031 URL <http://www.nishitetsu.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 倉富 純男
 問合せ先責任者(役職名) 総務広報部広報課長(氏名) 川上 哲平 (TEL) 092-734-1217
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	92,404	2.6	4,199	△4.5	4,046	△0.3	2,115	△7.1
2019年3月期第1四半期	90,055	4.0	4,398	6.1	4,058	△0.5	2,276	△23.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,031百万円(△60.1%) 2019年3月期第1四半期 2,583百万円(△43.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期第1四半期	26	83	26	73
2019年3月期第1四半期	28	88	28	76

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	615,498	181,068	28.5
2019年3月期	622,744	181,512	28.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 175,558百万円 2019年3月期 175,985百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2019年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00	—
2020年3月期	—	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	17.50	—	17.50	35.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	190,000	1.5	7,800	△17.7	6,900	△25.6	3,500	169.8	44	38
通期	406,400	2.4	19,000	△5.8	17,000	△11.8	8,300	31.1	105	25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期1Q	79,360,186株	2019年3月期	79,360,186株
2020年3月期1Q	499,121株	2019年3月期	501,801株
2020年3月期1Q	78,858,563株	2019年3月期1Q	78,845,879株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 自己株式については、役員向け株式給付信託に残存する当社株式 (2020年3月期1Q : 115,135株、2019年3月期 : 117,810株) を含めて記載しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料7ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報)	13
(重要な後発事象)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位 百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
営業収益	90,055	92,404	2,348	2.6%
営業利益	4,398	4,199	△199	△4.5%
経常利益	4,058	4,046	△11	△0.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,276	2,115	△160	△7.1%

当第1四半期連結累計期間につきましては、国際物流事業での連結子会社の増加や、ホテル事業での前期の新規ホテルや改装ホテルの寄与などにより、営業収益は924億4百万円（前年同期比 2.6%増）となりました。

営業利益は、住宅事業での販売費用の増加などにより、41億9千9百万円（前年同期比 4.5%減）となりました。

経常利益は、40億4千6百万円（前年同期比 0.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、21億1千5百万円（前年同期比 7.1%減）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

当第1四半期連結会計期間の期首に、会社分割を伴う連結子会社の組織再編を実施し、一部連結子会社において、セグメントの区分を変更しています。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、当該変更後の区分に基づき作成したものを開示しています。

(単位 百万円)

	営業収益				営業利益			
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
運輸業	22,111	22,198	86	0.4%	1,746	1,668	△78	△4.5%
不動産業	11,244	11,582	337	3.0%	1,500	1,130	△369	△24.6%
流通業	18,932	19,117	185	1.0%	34	127	93	269.0%
物流業	24,629	25,797	1,168	4.7%	799	814	15	1.9%
レジャー・サービス業	10,816	11,392	576	5.3%	472	471	△0	△0.2%
小計	87,734	90,088	2,354	2.7%	4,553	4,212	△340	△7.5%
その他	9,242	9,735	492	5.3%	△42	36	79	-
調整額	△6,921	△7,420	△499	-	△112	△50	62	-
連結	90,055	92,404	2,348	2.6%	4,398	4,199	△199	△4.5%

①運輸業

バス事業で貸切バスの稼働減などによる減収があった一方、鉄道事業で太宰府駅の旅客の増加などもあり、運輸業の営業収益は221億9千8百万円（前年同期比 0.4%増）となりました。営業利益は、バス事業の減収に加え、鉄道事業での減価償却費の増加などもあり、16億6千8百万円（前年同期比 4.5%減）となりました。

なお、旅客人員は鉄道事業で 2.0%増（前年同期比）、バス事業（乗合）で 0.8%減（前年同期比）となりました。

②不動産業

賃貸事業で福岡ビル閉館に伴う減収があった一方、住宅事業での「ブラントン大濠公園」などの分譲マンション販売区画数の増加などにより、不動産業の営業収益は、115億8千2百万円（前年同期比 3.0%増）となりました。

営業利益は、住宅事業での販売費用の増加などにより、11億3千万円（前年同期比 24.6%減）となりました。

なお、分譲販売区画数は55区画（前年同期比 7区画増）となりました。

③流通業

生活雑貨販売業での「イオンモール熊本店」（2018年7月開業）などの新規店舗の寄与や、ストア事業で前期に建て替えた店舗の寄与などにより、営業収益は191億1千7百万円（前年同期比 1.0%増）、営業利益は1億2千7百万円（前年同期比 269.0%増）となりました。

④物流業

国際物流事業で米中通商問題の影響などにより日本発アジア向けの航空輸出入取扱高が減少した一方、前期に子会社化したNNR GLOBAL LOGISTICS FRANCE SASの寄与などにより、物流業の営業収益は257億9千7百万円（前年同期比 4.7%増）、営業利益は、8億1千4百万円（前年同期比 1.9%増）となりました。

国際貨物取扱高は、航空輸出で 5.5%減（前年同期比）、航空輸入で 7.9%減（前年同期比）、海運輸出で21.0%増（前年同期比）、海運輸入で 17.6%増（前年同期比）となりました。

⑤レジャー・サービス業

ホテル事業で前期にリニューアルオープンした「ソラリア西鉄ホテル福岡」や、新規開業した「西鉄ホテルクルーム名古屋」（2019年1月開業）の寄与などにより、レジャー・サービス業の営業収益は113億9千2百万円（前年同期比 5.3%増）となりました。

営業利益は、ホテル事業での開発費用の増加や、旅行事業での海外旅行取扱高の減少などもあり、4億7千1百万円（前年同期比 0.2%減）となりました。

⑥その他

建設関連事業における受注増などにより、その他の営業収益は97億3千5百万円（前年同期比 5.3%増）、営業利益は3千6百万円（前年同期は営業損失4千2百万円）となりました。

(セグメント別損益概況)

(単位:百万円、単位未満は切捨て)

	営業収益				営業利益			
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率(%)	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率(%)
運輸業	22,111	22,198	86	0.4	1,746	1,668	△78	△4.5
鉄道事業	5,726	5,949	223	3.9	1,113	1,149	36	3.2
バス事業	15,942	15,406	△536	△3.4	700	617	△82	△11.8
(バス事業実質)※1	(14,623)	(14,404)	(△218)	(△1.5)	-	-	-	-
他	2,936	3,073	136	4.7	△106	△103	2	-
調整額	△2,493	△2,230	263	-	38	4	△34	-
不動産業	11,244	11,582	337	3.0	1,500	1,130	△369	△24.6
賃貸事業	6,552	6,431	△121	△1.8	1,754	1,712	△42	△2.4
住宅事業	2,459	2,993	534	21.7	△381	△644	△263	-
他	3,058	2,979	△78	△2.6	127	72	△54	△42.7
調整額	△825	△822	3	-	△0	△9	△9	-
流通業	18,932	19,117	185	1.0	34	127	93	269.0
ストア事業	17,824	17,880	55	0.3	40	91	50	124.3
生活雑貨販売業	1,107	1,237	129	11.7	39	57	18	45.9
調整額	-	-	-	-	△45	△21	24	-
物流業	24,629	25,797	1,168	4.7	799	814	15	1.9
国際物流事業	25,149	26,135	985	3.9	879	799	△80	△9.1
国内物流事業	2,677	2,673	△3	△0.1	64	54	△10	△16.4
調整額	△3,196	△3,011	185	-	△145	△39	106	-
レジャー・サービス業	10,816	11,392	576	5.3	472	471	△0	△0.2
ホテル事業	6,927	8,671	1,743	25.2	460	429	△30	△6.6
(ホテル事業実質)※2	(4,985)	(5,438)	(453)	(9.1)	-	-	-	-
旅行事業	973	850	△123	△12.7	△134	△169	△34	-
娯楽事業	1,231	1,289	57	4.7	107	163	56	52.1
他	4,123	4,295	172	4.2	29	38	8	27.5
調整額	△2,440	△3,714	△1,273	-	9	8	△0	-
小計	87,734	90,088	2,354	2.7	4,553	4,212	△340	△7.5
その他	9,242	9,735	492	5.3	△42	36	79	-
調整額	△6,921	△7,420	△499	-	△112	△50	62	-
連結	90,055	92,404	2,348	2.6	4,398	4,199	△199	△4.5

※1 バス事業の営業収益は内部取引を除くと1.5%の減となります。

※2 ホテル事業の営業収益は内部取引を除くと9.1%の増となります。

(数量等)

①鉄道旅客人員・旅客収入(運輸業)

	単位	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
旅客人員	千人	28,042	28,590	548	2.0
定期外	千人	12,292	12,800	508	4.1
定期	千人	15,750	15,790	40	0.3
旅客収入	百万円	5,384	5,531	146	2.7
定期外	百万円	3,308	3,455	146	4.4
定期	百万円	2,076	2,076	△0	△0.0

②乗合バス旅客人員・旅客収入(運輸業)

	単位	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
旅客人員	千人	68,626	68,045	△581	△0.8
定期外	千人	37,334	37,554	220	0.6
定期	千人	31,292	30,490	△802	△2.6
旅客収入	百万円	12,408	12,388	△19	△0.2
定期外	百万円	9,062	9,084	22	0.2
定期	百万円	3,345	3,304	△41	△1.2

③分譲販売区画数(不動産業)

	単位	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
分譲販売区画数	区画	48	55	7	14.6
マンション	戸	13	26	13	100.0
戸建	区画	26	24	△2	△7.7
リノベーション	戸	9	5	△4	△44.4

④国際貨物取扱高(物流業)

	単位	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
航空輸出	千トン	37	35	△2	△5.5
航空輸入	千件	113	104	△9	△7.9
海運輸出	千TEU	19	23	4	21.0
海運輸入	千TEU	24	28	4	17.6

(2) 財政状態に関する説明

(単位 百万円)

	前連結会計年度	当第1四半期 連結会計期間末	増減
資産合計	622,744	615,498	△7,246
負債合計	441,232	434,429	△6,803
純資産合計	181,512	181,068	△443
社債及び借入金	248,161	259,865	11,703

資産は、現金及び預金や、販売土地及び建物が増加した一方、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ72億4千6百万円減少し、6,154億9千8百万円となりました。

負債は、社債が増加した一方、支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ68億3百万円減少し、4,344億2千9百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金が増加した一方、その他有価証券評価差額金の減少等により、前連結会計年度末に比べ4億4千3百万円減少し、1,810億6千8百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の第2四半期連結累計期間業績予想及び通期連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績および各事業セグメントの今後の見通しを踏まえ、2019年5月9日公表の内容から変更しています。

通期連結業績予想につきましては、営業収益は、国際物流事業における海外子会社での為替変動による円換算額の減少や、米中通商問題の影響による取扱高の減少に加え、ストア事業での価格志向の強まりによる既存店売上の低迷などにより、前回予想を下回る見込みです。

営業利益は、国際物流事業やストア事業で前回予想を下回る見込みですが、運輸業で前回予想を上回る見込みとなり、全体では前回予想から変更ありません。

経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想から変更ありません。

第2四半期連結累計期間業績予想につきましても、営業収益につきましては同様の理由により変更しています。

(単位 百万円)

	2020年3月期予想 (前回公表値)	2020年3月期予想	増減額	増減率
営業収益	415,000	406,400	△8,600	△2.1%
営業利益	19,000	19,000	—	—
経常利益	17,000	17,000	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,300	8,300	—	—

(単位 百万円)

	営業収益				営業利益			
	2020年3月期予想 (前回公表値)	2020年3月期予想	増減額	増減率	2020年3月期予想 (前回公表値)	2020年3月期予想	増減額	増減率
運輸業	87,600	88,300	700	0.8%	5,100	5,600	500	9.8%
不動産業	73,400	73,400	—	—	7,900	7,900	—	—
流通業	79,800	77,800	△2,000	△2.5%	1,000	900	△100	△10.0%
物流業	112,500	106,200	△6,300	△5.6%	2,800	2,400	△400	△14.3%
レジャー・サービス業	47,100	47,200	100	0.2%	1,700	1,700	—	—
小計	400,400	392,900	△7,500	△1.9%	18,500	18,500	—	—
その他	45,700	44,700	△1,000	△2.2%	1,400	1,400	—	—
調整額	△31,100	△31,200	△100	—	△900	△900	—	—
連結	415,000	406,400	△8,600	△2.1%	19,000	19,000	—	—

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,391	32,618
受取手形及び売掛金	51,114	33,207
販売土地及び建物	47,253	51,487
商品及び製品	4,155	4,467
仕掛品	1,055	1,421
原材料及び貯蔵品	1,958	1,957
その他	9,004	9,712
貸倒引当金	△223	△182
流動資産合計	140,709	134,690
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	175,169	174,919
機械装置及び運搬具（純額）	23,893	22,467
土地	128,464	128,478
建設仮勘定	64,002	64,875
その他（純額）	8,343	7,977
有形固定資産合計	399,873	398,717
無形固定資産		
のれん	1,498	1,395
その他	4,944	4,818
無形固定資産合計	6,442	6,213
投資その他の資産		
投資有価証券	51,737	49,480
退職給付に係る資産	3,314	3,349
繰延税金資産	11,219	12,310
その他	9,872	11,152
貸倒引当金	△425	△415
投資その他の資産合計	75,718	75,876
固定資産合計	482,034	480,808
資産合計	622,744	615,498

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,746	36,412
短期借入金	36,227	36,032
未払消費税等	911	2,282
未払法人税等	2,988	1,728
前受金	46,972	47,742
賞与引当金	6,228	9,323
その他の引当金	260	146
その他	21,554	23,879
流動負債合計	174,889	157,547
固定負債		
社債	94,000	109,000
長期借入金	117,934	114,832
繰延税金負債	1,140	1,067
その他の引当金	671	674
退職給付に係る負債	24,020	23,368
長期預り保証金	25,119	24,553
その他	3,455	3,385
固定負債合計	266,343	276,882
負債合計	441,232	434,429
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,157	26,157
資本剰余金	12,622	12,622
利益剰余金	130,600	131,378
自己株式	△1,037	△1,031
株主資本合計	168,342	169,127
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,292	8,017
繰延ヘッジ損益	△1,230	△1,547
為替換算調整勘定	△327	△192
退職給付に係る調整累計額	△91	153
その他の包括利益累計額合計	7,643	6,431
新株予約権	471	470
非支配株主持分	5,055	5,039
純資産合計	181,512	181,068
負債純資産合計	622,744	615,498

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
営業収益	90,055	92,404
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	78,290	80,386
販売費及び一般管理費	7,366	7,818
営業費合計	85,657	88,204
営業利益	4,398	4,199
営業外収益		
受取利息	8	10
受取配当金	407	359
雑収入	170	263
営業外収益合計	587	632
営業外費用		
支払利息	435	410
持分法による投資損失	337	210
雑支出	154	163
営業外費用合計	927	785
経常利益	4,058	4,046
特別利益		
固定資産売却益	0	41
受託工事金受入額	-	1
工事負担金等受入額	921	292
その他	25	9
特別利益合計	947	344
特別損失		
固定資産圧縮損	912	275
固定資産除却損	99	278
福ビル街区建替関連費用	42	266
その他	75	4
特別損失合計	1,130	824
税金等調整前四半期純利益	3,875	3,566
法人税、住民税及び事業税	2,349	2,069
法人税等調整額	△856	△731
法人税等合計	1,492	1,338
四半期純利益	2,382	2,228
非支配株主に帰属する四半期純利益	106	112
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,276	2,115

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	2,382	2,228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	682	△1,266
繰延ヘッジ損益	4	△2
為替換算調整勘定	△541	93
退職給付に係る調整額	70	244
持分法適用会社に対する持分相当額	△15	△266
その他の包括利益合計	200	△1,196
四半期包括利益	2,583	1,031
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,528	904
非支配株主に係る四半期包括利益	54	126

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	運輸業	不動産業	流通業	物流業	レジャー・ サービス業	計			
営業収益	22,111	11,244	18,932	24,629	10,816	87,734	9,242	△6,921	90,055
セグメント利益 又は損失(△)	1,746	1,500	34	799	472	4,553	△42	△112	4,398

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ICカード事業、車両整備関連事業、建設関連事業及び金属リサイクル事業を含んでいます。

※前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、連結子会社の組織再編に伴い変更後の区分に基づき作成したものを開示しています。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,553
「その他」の区分の利益	△42
セグメント間取引消去	131
全社費用(注)	△244
四半期連結損益計算書の営業利益	4,398

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理費です。

※前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、連結子会社の組織再編に伴い変更後の区分に基づき作成したものを開示しています。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	運輸業	不動産業	流通業	物流業	レジャー・ サービス業	計			
営業収益	22,198	11,582	19,117	25,797	11,392	90,088	9,735	△7,420	92,404
セグメント利益 又は損失(△)	1,668	1,130	127	814	471	4,212	36	△50	4,199

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ICカード事業、車両整備関連事業、建設関連事業及び金属リサイクル事業を含んでいます。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,212
「その他」の区分の利益	36
セグメント間取引消去	127
全社費用(注)	△177
四半期連結損益計算書の営業利益	4,199

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理費です。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間の期首に、グループ経営の更なる効率化を図るため、会社分割を伴う組織再編を実施いたしました。この組織再編に伴って、西鉄エンジニアリング(株) (旧西鉄テクノサービス(株)) を従来の「その他」セグメントから「運輸業」セグメントに変更しています。

あわせて、「その他」セグメントの(株)西鉄グリーン土木および西鉄電設工業(株)の一部組織を西鉄エンジニアリング(株)に、西鉄エンジニアリング(株)の一部組織を「レジャー・サービス業」セグメントの西鉄情報システム(株)へ移管しています。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、当該変更後の区分に基づき作成したものを開示しています。

(重要な後発事象)

(債務保証について)

当社は、2019年8月8日の取締役会決議に基づき、当社の関連会社であるSC NNR 1 Co., Ltd. が実行予定の金融機関からの借入金684百万円（約23億円）について、債務保証を行う予定です。